



えひめ南予きずな博

ブラ防さんぽ

～江戸時代から現代に繋がる助け合いの絆～

えひめ南予きずな博のプログラムとして、平成30年7月豪雨災害を経験したボランティアガイドの3人が吉田町の歴史との関わりを交えながら皆さんをご案内します。

日 毎月第3日曜日 午前10時～

定 5人
(6人以上の団体も可 ※要相談)

料 2,000円 (6人以上は+400円/人)

問 (特非)宇和島NPOセンター ☎49-3563



えひめ南予
きずな博

自助と共助
繋いできた助け合いの絆

平成30年7月豪雨災害により多大な災害を受けた吉田町で新たな防災減災学習プログラム「ブラ防さんぽ」が始まりました。これは地元ガイドの3人が未だ残る爪痕を当時の体験や災害への備えなどをブラブラ歩きながら伝えていくというツアーです。

コースは、家中町かちゅうまちと呼ばれる吉田町のまちなかのうち、これまで7度災害にあったと記録が残っている場所を中心に歩きます。当時、まちの人たちがどのように災害を乗り越え、江戸時代から変わっていないといわれる街並みをどう守ってきたのかを実際に歩きながら学び、参加した人たちにとって今後起こりうる災害を乗り越えるためのヒントになるようにと、ガイドの皆さんを中心に考えられました。

その歴史の中で、防災の取組みとして重要だと考えられているのが水路の管理です。今も行われている「溝掃除」と呼ばれる水路の大清掃は、まちを災害から自分たちの手で守りたいという住民たちの想いが360年余り繋がれてきたものです。ガイドの皆さんは「自分たちの命を守ることは自分のまちを知ることがスタート。歴史から学び、隣近所が手を取り合い、

助け合うことが絆を取り戻すきっかけになってほしい」と願いを込め、これから語り継いでいきます。

平成30年7月豪雨災害宇和島市追悼式

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、式典は一部関係者のみで行います。一般参列者の人は自由献花を行うことができる時間を設けます。来場の際はマスクを着用し、会場での感染予防対策に協力してください。

また、当日は正午に行政連絡放送を行います。それぞれの場所で黙とうをお願いします。

日 7月7日(木) 午前11時～午後5時

※献花用の花は市が準備します。避難情報の発令状況により順延または中止する場合があります。

場 吉田公民館

問 市長公室政策調整係 ☎24-1111内線2425